

普及技術  
分類名〔花き〕

普 9	夏秋ギクのセルトレイ育苗期における定植前摘心
-----	------------------------

宮城県農業・園芸総合研究所

**要約**

夏秋ギク露地電照栽培における摘心作業について、セルトレイで摘心して当日に定植することにより、慣行（定植1週間後にほ場で摘心）と同等の切り花品質が確保できることを明らかにした。また、定植1週間前の摘心は、品種によっては仕立本数を確保できない場合があるが、整枝前側枝数が少なくなるためほ場での側枝の摘除作業が軽減される。

普及対象：夏秋ギク生産を行う経営体  
普及想定地域：県内全域

**1 取り上げた理由**

夏秋ギクの栽培は8月盆及び9月彼岸が需要期となり、多くが露地で栽培されている。そのため、ほ場への定植後に行う摘心作業は、天候に左右されるとともに、ほ場を屈んで移動しながら行うため身体的負担が大きい。セルトレイ育苗期に摘心できれば、ほ場を移動しながら行っていた摘心作業が作業台の上で実施できるため軽労化が可能となるが、育苗期に摘心しても仕立本数や切り花品質が確保できるかどうか不明であった。

そこで、セルトレイ育苗期に摘心した場合の仕立本数や切り花品質への影響を確認したので、普及技術とする。

**2 普及技術**

- (1) セルトレイで育苗した苗を定植当日に摘心する場合（箱摘心A）は、定植1週間後に摘心した場合（慣行）と同等の側枝が発生し、慣行と同等の切り花本数と切り花品質を確保できる（表1、表3、表4、表5、図1）。
- (2) 定植1週間前の摘心（箱摘心B）は整枝前側枝数が少ないため、ほ場での整枝本数が少なくなるメリットはあるが、生育の劣る側枝が残り、品種によって下位等級が発生しやすいデメリットがあり、仕立本数が確保できなくなる場合がある（表1、表2、図1）。

表1 摘心作業の違いによる整枝前側枝数（令和5年）

（単位：本）

試験区	精こまき	精はなこ	精しらあや	精きくゆう	セイスピカ	セイパレット	セイマオン
箱摘心A	3.9a	7.4a	7.3a	3.8ab	6.9a	4.2a	4.5 ns
箱摘心B	3.5b	4.4b	3.4b	3.5b	3.6b	2.3b	4.7
慣行	4.9a	7.3a	6.3a	4.9a	7.7a	4.3a	4.9

※異なる英小文字間は5%の水準で有意差あり、nsは有意差なし（Tukey法）

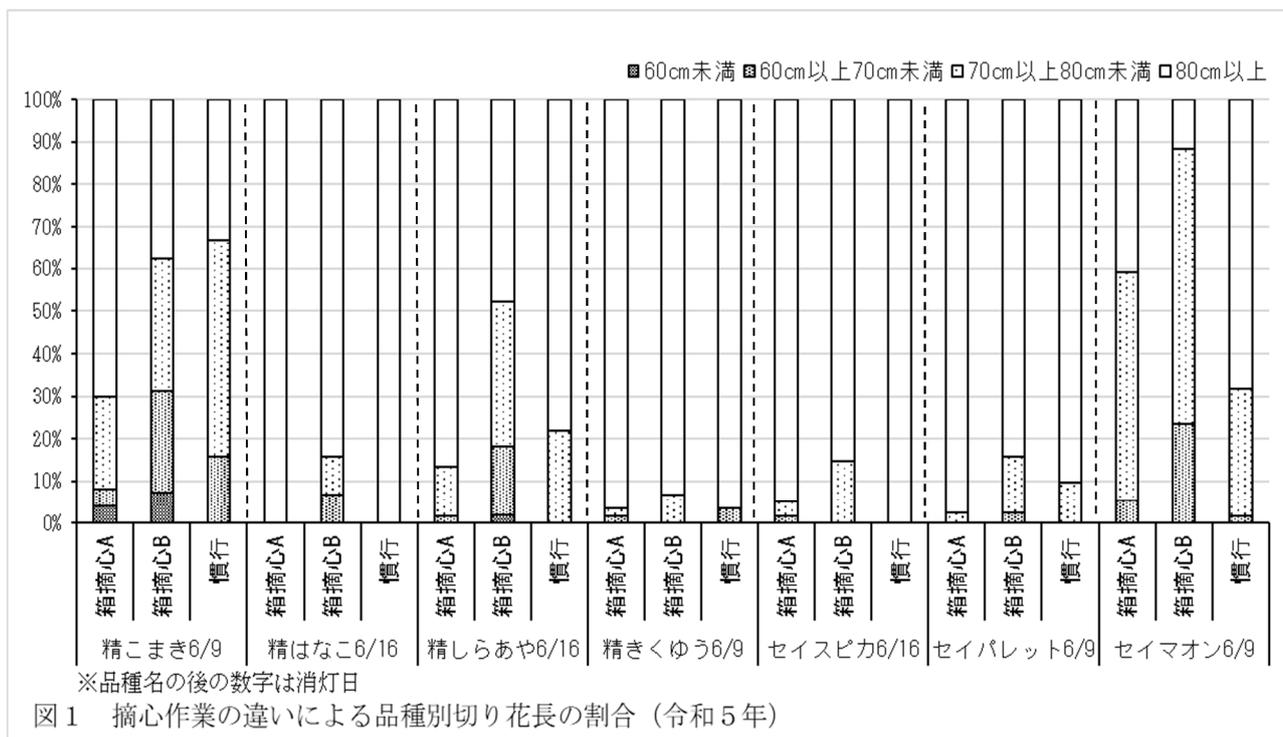
※小ギクは摘心23日後、スプレーギクは摘心15日後に調査

表2 摘心作業の違いによる整枝後の仕立本数（3本）確保株率（令和5年）

（単位：%）

試験区	精こまき	精はなこ	精しらあや	精きくゆう	セイスピカ	セイパレット	セイマオン
箱摘心A	100 ns	100 ns	100 ns	90 ns	100 ns	80a	100a
箱摘心B	85	86	80	95	95	5b	90b
慣行	95	100	95	90	98	85a	100a

※異なる英小文字間は5%の水準で有意差あり、nsは有意差なし（Tukey法、確保株率についてはアークサイン変換後に検定）



### 3 利活用の留意点

- (1) 宮城県名取市での結果であり、耕種概要は表6のとおりである。
- (2) 試験は128穴のセルトレイに用土プロミックスを使用して挿し芽を行ったものである。
- (3) 摘心後の側枝の発生には品種間差がある（表1）。

（問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所 花き・果樹部 電話 022-383-8136）

### 4 背景となった主要な試験研究の概要

- (1) 試験研究課題名及び研究期間

みやぎ環境税活用事業「キク類栽培における気候変動への適応推進事業」（令和5年）

- (2) 参考データ

表3 摘心作業の違いによる小ギクの消灯日側枝長（令和5年）

（単位：cm）

試験区	精こまき (消灯日6/9)				精はなこ (消灯日6/9)				精はなこ (消灯日6/16)				精しらあや (消灯日6/9)				精しらあや (消灯日6/16)				精きくゆう (消灯日6/9)			
	1本目	2本目	3本目	長短差	1本目	2本目	3本目	長短差	1本目	2本目	3本目	長短差	1本目	2本目	3本目	長短差	1本目	2本目	3本目	長短差	1本目	2本目	3本目	長短差
箱摘心A	34	32	26	7.4	37	35	33	3.8	50	48	45	5.1	29	27	25	4.0	42	41	39	3.3	35	33	31	4.5
箱摘心B	34	30	22	10.4	32	29	25	7.4	50	45	38	13.8	29	27	22	5.4	39	36	29	8.5	32	29	26	6.0
慣行	33	31	28	5.3	41	38	36	4.9	55	53	50	4.7	30	28	26	4.4	44	41	37	7.1	38	37	34	4.1

※株毎に側枝長の長い順に1本目、2本目、3本目とし、長短差は株毎の最長側枝長と最短側枝長の差。

表4 摘心作業の違いによるスプレーギクの消灯後側枝長（6/16調査）（令和5年）

（単位：cm）

試験区	セイスピカ (消灯日6/9)				セイスピカ (消灯日6/16)				セイパレット (消灯日6/9)				セイマオン (消灯日6/9)			
	1本目	2本目	3本目	長短差	1本目	2本目	3本目	長短差	1本目	2本目	3本目	長短差	1本目	2本目	3本目	長短差
箱摘心A	36	35	33	3.3	34	32	29	4.8	35	32	30	4.9	32	30	28	3.3
箱摘心B	32	29	26	6.8	36	35	32	4.8	30	27	-	4.1	26	23	18	7.7
慣行	37	34	32	4.3	35	34	31	4.4	34	32	29	4.8	34	32	29	4.7

※株毎に側枝長の長い順に1本目、2本目、3本目とし、長短差は株毎の最長側枝長と最短側枝長の差。

表5 摘心作業の違いによる開花日及び切り花品質（令和5年）

品種名	消灯日	試験区	開花盛期 <sup>z</sup>	切花長	切花重	葉数	莖径 <sup>y</sup>	花蕾数	花房形 <sup>x</sup>
精こまき	6月9日	箱摘心A	8月5日	81.5	30.4	43.0	4.8	8.1	AB
		箱摘心B	8月6日	75.3	27.9	40.5	4.6	7.7	AB
		慣行	8月4日	77.1	26.4	41.1	4.5	8.0	AB
精はなこ	6月9日	箱摘心A	7月29日	93.7	32.9	44.9	4.4	12.3	A
		箱摘心B	7月27日	81.0	27.7	41.3	4.1	11.8	A
		慣行	7月28日	92.5	33.1	46.9	5.0	12.4	A
	6月16日	箱摘心A	8月1日	97.5	42.5	49.9	4.8	13.5	A
		箱摘心B	7月31日	89.7	38.3	47.4	4.6	13.2	AB
		慣行	7月31日	97.9	37.2	50.0	4.5	14.4	AB
精しらあや	6月9日	箱摘心A	7月27日	73.6	31.3	42.4	4.3	14.4	A
		箱摘心B	7月26日	71.0	32.0	41.2	4.2	14.1	AB
		慣行	7月27日	74.4	31.3	44.5	4.4	14.7	A
	6月16日	箱摘心A	8月1日	86.1	41.4	48.6	4.7	15.0	AB
		箱摘心B	7月31日	78.3	35.9	43.8	4.4	14.2	AB
		慣行	8月1日	82.9	37.5	48.4	4.5	15.3	AB
精きくゆう	6月9日	箱摘心A	8月4日	98.6	45.9	35.3	6.5	8.9	A
		箱摘心B	8月3日	92.4	40.8	32.8	4.9	8.2	A
		慣行	8月1日	97.5	44.6	35.7	5.1	9.3	A
セイスピカ	6月9日	箱摘心A	8月3日	91.7	45.8	38.3	5.9	18.8	AB
		箱摘心B	8月4日	89.1	38.4	38.7	4.1	24.3	AB
		慣行	8月2日	90.6	41.0	41.2	4.2	26.2	AB
	6月16日	箱摘心A	8月5日	92.2	35.1	40.3	3.9	22.3	AB
		箱摘心B	8月4日	88.8	36.0	40.5	3.9	21.8	AB
		慣行	8月4日	93.7	33.4	40.4	4.4	20.2	AB
セイパレット	6月9日	箱摘心A	8月12日	90.0	49.1	35.4	5.7	6.1	A
		箱摘心B	8月11日	87.1	60.4	34.4	6.2	6.5	A
		慣行	8月12日	89.1	55.3	36.4	5.8	6.8	A
セイマオン	6月9日	箱摘心A	8月8日	78.1	40.3	32.9	5.3	8.0	A
		箱摘心B	8月9日	73.2	41.3	30.2	5.4	7.3	A
		慣行	8月8日	82.7	48.9	35.0	5.7	8.2	A

z 50%開花時とした。

y 切り花頂端より1/2下がった位置の長径。

x 円錐形または円筒形（頂花下りも含めた）をA、平形をB、凹形をC、乱形（やなぎ芽）をDとし、個体数の多い順に表した。

表6 耕種概要（令和5年）

分類	試験区	挿し芽	定植	摘心	仕立本数
小ギク	箱摘心A	4/7	5/1	5/1	3本
	箱摘心B	4/7	5/8	5/1	3本
	慣行	4/7	4/25	5/1	3本
スプレーギク	箱摘心A	4/17	5/9	5/9	3本
	箱摘心B	4/17	5/16	5/9	3本
	慣行	4/17	5/1	5/9	3本

定植は、株間15cm×条間15cm、5条ネットの中1条抜き4条植えとした。

基肥として窒素成分量1.5kg/aを施用した。

電照は、赤色LEDランプ（NAG10CSR5-62E26、（株）エルム、7W）を高さ1.5～1.8m、3m間隔に設置し、定植から消灯日（6月9日、6月16日）まで6時間（22:00～4:00）実施した。

(3) 発表論文等 なし

(4) 共同研究機関

イノチオ精興園株式会社